

第18回肝炎治療戦略会議	
平成30年2月19日	資料2-2

平成29年度厚生労働行政推進調査事業費補助金(肝炎等克服政策研究事業)

「肝がん研究の推進及び肝がん患者等への支援の
ための最適な仕組みの構築を目指した研究」
成果報告 別冊

東京大学大学院消化器内科学

小池和彦

1) 都道府県で肝がん・非代償性肝硬変（重度肝硬変）と判定する際の基準

※主治医の判断基準と同等

○ウイルス性であることの判定

HBs 抗原陽性あるいは、HCV 抗体陽性（HCV-RNA 陰性でも含む）

* B 型慢性肝炎の HBs 抗原消失例を考慮し、HBs 抗原陰性であっても過去に半年以上継続する HBs 抗原陽性が認められるものは、含まれることとする。

○肝がんであることの判定

現在あるいは以前に肝がんであることを次のいずれかの方法で確認する

・画像所見

例) 造影CT、造影MRI、血管造影/造影下CT

・病理所見

例) 肝がん切除標本、腫瘍生検

○非代償性肝硬変であることの判定

現在あるいは以前に非代償性肝硬変であることを次のいずれかの基準で判定する

・Child-Pugh 7 点以上

・別に定める「非代償性肝硬変の対象医療行為」の治療歴を現在あるいは以前に有する

2) 医療機関窓口で対象患者及び対象医療を判断するための判定基準

入院時の「病名」と実施された「医療行為」で判定する。

○肝がん及び非代償性肝硬変の病名の判定基準

・肝がん患者であるかの判定基準

電子カルテ用 ICD10 対応標準病名マスター

病名	病名管理番号	ICD		病名交換用コード
肝癌	20057051	C220		C5L0
肝細胞癌	20057070	C220		U7HP
肝細胞癌破裂	20099318	C220	K768	GDUC
原発性肝癌	20060439	C220		HU4F
肝癌骨転移	20087470	C795		FT2V

・非代償性肝硬変患者であるかの判定基準

電子カルテ用 ICD10 対応標準病名マスター

病名	病名管理番号	ICD10 コード	病名交換用コード
B型肝硬変	20050099	B181	N3TJ
B型代償性肝硬変	20100408	B181	US26
B型非代償性肝硬変	20100410	B181	J13K
B型慢性肝炎	20050102	B181	F3J7
C型肝硬変	20050134	B182	TMB1
C型代償性肝硬変	20100409	B182	R1N4
C型非代償性肝硬変	20100412	B182	EF6J
C型慢性肝炎	20050137	B182	FARP
肝硬変症	20057068	K746	BM6F
肝性脳症	20057096	K729	N50L
肝性昏睡	20057095	K729	KHR0
慢性肝不全	20076391	K721	R8R3
肝不全	20057155	K729	S3TE
肝性腹水	20057098	R18	UBQ0
難治性腹水	20072330	R18	L8C7
腹水症	20075375	R18	SQTN
肝細胞性黄疸	20057071	K729	J4UV
食道静脈瘤出血	20065292	I850	TC7G
食道静脈瘤破裂	20065293	I850	M8GP
食道胃静脈瘤	20087148	I859/I864	F6F7
食道静脈瘤	20065291	I859	UAFB
肝硬変に伴う食道静脈瘤	20096774	K746/I852	J6S5
肝硬変に伴う食道静脈瘤出血	20102608	K746/I852	P711

門脈圧亢進症性胃腸症	20093515	K766/K928	TEVN
細菌性腹膜炎	20062300	K658	EJSD

○肝がん及び非代償性肝硬変の対象医療行為の判定

以下に列挙した対象医療行為のうち、

- ① 肝がん及び非代償性肝硬変の治療目的の入院と判断できるもの（網掛けあり）
- ② 上記①と判断はできないが、関連する医療行為と判断できるもの（網掛けなし）に区別する。

手術

区分番号	診療行為名称	請求コード
K695-00	肝切除術（部分切除）	150362610
K695-00	肝切除術（亜区域切除）	150362710
K695-00	肝切除術（外側区域切除）	150362810
K695-00	肝切除術（1区域切除（外側区域切除を除く））	150362910
K695-00	肝切除術（2区域切除）	150363010
K695-00	肝切除術（3区域切除以上）	150363110
K695-00	肝切除術（2区域切除以上で血行再建）	150363210
K695-02	腹腔鏡下肝切除術（部分切除）	150348010
K695-02	腹腔鏡下肝切除術（外側区域切除）	150348110
K695-02	腹腔鏡下肝切除術（亜区域切除）	150388710
K695-02	腹腔鏡下肝切除術（1区域切除（外側区域切除を除く））	150388810
K695-02	腹腔鏡下肝切除術（2区域切除）	150388910
K695-02	腹腔鏡下肝切除術（3区域切除以上）	150389010
K697-03	肝悪性腫瘍ラジオ波焼灼療法（2cm以内）（腹腔鏡）	150378410
K697-03	肝悪性腫瘍ラジオ波焼灼療法（2cm以内）（その他）	150378510
K697-03	肝悪性腫瘍ラジオ波焼灼療法（2cmを超える）（腹腔鏡）	150378610
K697-03	肝悪性腫瘍ラジオ波焼灼療法（2cmを超える）（その他）	150378710
K697-02	肝悪性腫瘍マイクロ波凝固法（腹腔鏡）	150378210
K697-02	肝悪性腫瘍マイクロ波凝固法（その他）	150378210
K615-00	血管塞栓術（頭部、胸腔、腹腔内血管等）（選択的動脈化学塞栓術）	150376810
K615-00	血管塞栓術（頭部、胸腔、腹腔内血管等）（その他）	150360710
K532-00	食道・胃静脈瘤手術（血行遮断術を主とする）	150136110
K532-00	食道・胃静脈瘤手術（食道離断術を主とする）	150136210
K532-02	食道静脈瘤手術（開腹）	150136350
K532-03	腹腔鏡下食道静脈瘤手術（胃上部血行遮断術）	150366910
K533-00	食道・胃静脈瘤硬化療法（内視鏡）	150136510

K533-02	内視鏡的食道・胃静脈瘤結紮術	150270150
K621-00	門脈体循環静脈吻合術（門脈圧亢進症手術）	150154510
K635-00	胸水・腹水濾過濃縮再静注法	150159710
K635-02	腹腔・静脈シャントバルブ設置術	150260450

処置

J017-00	エタノール局所注入	140050910
J008-00	胸腔穿刺	140003210*
J019-00	持続的胸腔ドレナージ	140004110
J010-00	腹腔穿刺（人工気腹、洗浄、注入及び排液を含む）	140003610
J021-00	持続的腹腔ドレナージ	140004510
D412-00	経皮的針生検法	160098010

放射線治療

M001-00	体外照射（高エネルギー放射線治療）	180020710*
M001-02	ガンマナイフによる定位放射線治療	180018910
M001-03	直線加速器による放射線治療	180026750*

注射

G003-00	抗悪性腫瘍剤局所持続注入	130007510
G003-03	肝動脈塞栓を伴う抗悪性腫瘍剤肝動脈内注入	130010410

画像診断

E003-00	造影剤注入（動脈造影カテーテル法）（選択的血管造影）	170027110
E200-00	CT 撮影	170011710*
E202-00	MRI 撮影	170033510*

* 該当する区分の検査すべてを含む。

薬剤等（一般名）

手術処置等で「肝癌・非代償性肝硬変」の治療目的の入院か判別がつかない場合、下記薬剤の使用を参考として、入院病名から判断する

○肝がん及びがん性疼痛治療薬

化学療法

殺細胞性抗癌剤：エピルビシン塩酸塩、ドキソルビシン塩酸塩、シスプラチン（動注用）、マイトマイシンC、フルオロウラシル等

分子標的治療薬：ソラフェニブトシル酸塩、レゴラフェニブ水和物等

鎮痛薬

がん性疼痛及び肝がんの病名が確認された場合に疼痛コントロール目的の入院と判定する。

オピオイド：モルヒネ、フェンタニル、ペチジン、ブプレノルフィン、ペンタゾシン、エプタゾシン、
トラマドール、オキシコドン

NSAID：サリチル酸系、フェナム酸系、アリール酢酸系、プロピオン酸系、ピリミジン系、オキシカム
系、COX-2 選択的阻害薬

アセトアミノフェン

○非代償性肝硬変治療薬

肝性浮腫・腹水治療薬

肝性浮腫あるいは腹水、難治性腹水等の病名を必要とする。

・利尿薬

バソプレッシン受容体拮抗薬：トルバプタン

ループ系：フロセミド、フメタニド、トラセミド、プレタニド、アゾセミド

カリウム保持性：スピロラクトン、トリアムテレン、カンレノ酸カリウム

チアジド系：ヒドロクロロチアジド、トリクロルメチアジド

炭酸脱水素酵素阻害剤：アセタゾラミド

浸透圧性：イソソルビド、濃グリセリン果糖、D-マンニトール

・ヒトアルブミン製剤

肝性脳症治療薬

「肝不全用アミノ酸製剤の点滴」が実施された場合に、肝性脳症の治療目的の入院と判断する。

特殊組成アミノ酸輸液（アミノレバン、モリヘパミン）

肝不全用経腸栄養製剤（アミノレバンEN、ヘパンED）

合成二糖類（ラクツロース、ラクチトール）

リファキシミン

レボカルニチン（カルニチン欠乏症を伴う、あるいは発症する可能性が極めて高い場合）

門脈圧亢進症治療薬/消化管出血

バソプレッシン（適用は「食道静脈瘤出血の緊急処置」）

プロトンポンプ阻害薬（添付文書上の適用禁忌に注意する）

低アルブミン血症/低栄養状態改善薬

分岐鎖アミノ酸製剤：分岐鎖アミノ酸顆粒製剤（リーバクト）、肝不全用経腸栄養製剤（アミノレバン
EN、ヘパンED）

特発性細菌性腹膜炎等の感染症治療薬

抗菌薬

○肝疾患関連治療薬

B型肝炎治療薬

核酸アナログ製剤：エンテカビル、テノホビル ジソプロキシルフマル酸塩、テノホビルアラフェナミ
ドフマル酸塩、アデホビルピボキシル、ラミブジン

肝庇護薬

ウルソデオキシコール酸、強カネオミノファーゲンC製剤、タウリン等

その他

- ・ナルフラフィン塩酸塩、ルストロンボパグ、
- ・漢方製剤（芍薬甘草湯、大建中湯、小柴胡湯、十全大補湯、茵陳蒿湯等）